

住民自治協議会だより

第38号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

川後線 運行見直し 6年4月1日より新運行

終点は西裾花台団地 「かつら号」は週5回運行

川後線バスの運行見直しで、現行のバスターミナル発滝屋行は4月1日から西裾花台団地が終点で「西裾花台団地線」となります。運行本数は同じですが土曜日は運休です。



昭和31年5月に小田切の中心地川後まで来た初めての乗合バス。この代替えとして運行中のデマンドタクシー「かつら号」は、週3回から週5回（月～金曜日）となります。予約先や利用方法、運賃は当面現在と同じです。

街に出るにはどうしても路線バス乗り継ぎが必要となり、あと数キロの所まで来ての乗り換えは移動手段として何とももどかしく、乗車人数の著しい減少とは言え何とも残念です。

川後線利用状況



令和3年度
西裾花台団地～滝屋間の利用人数は2,451人で1便あたり1.05人

第4回 小田切地区社会福祉大会

～誰もが自分らしく、そして共に支え合える地域づくり～

第4回小田切地区社会福祉大会は10月27日、交流センター体育館で約80名が参加して行われました。オープニングに長野翔和学園の和太鼓演奏があり、次のおしゃべりタイムでは参加者全員が8テーマに分かれて、小田切地区の現状や気付き所を自由なおしゃべりで意見交換が行われ、多様な意見や提案は代表者により発表され、住自協発行「小田切福祉だより」に掲載し全戸に配布し今後の地域づくりなどに生かしていくこととしました。

お笑い鑑賞は、著名な指揮者の形態模写のお笑い芸人好田タクト氏の演芸で、会場が大いに盛り上がりました。

これに先立ち行われた市芸術館コンサート「お届け芸術館」は、フルートとハーブの生演奏を楽しみました。



おしゃべりタイム



お笑い鑑賞

令和5年度 土砂災害対応防災訓練 小田切地区で開催 市危機管理防災課

小田切運動場を主会場に支所周辺で、9月30日午前中に行いました。小田切地区からは住自協会長、区自主防災会長（区長）と防災指導員、民生児童委員、区民代表者の約60名、市から消防団や市職員、安茂里介護サービス、自衛隊など総勢175名超が参加した総合訓練でした。

想定は長野市に「土砂災害警戒情報」が発表され、小田切地区全域に「高齢者等避難」が発令、下深沢集落北側では大規模な土砂崩落の可能性があり全世帯に「避難指示」が出て、各区では避難情報伝達訓練と住民避難誘導などの訓練が行われました。

訓練は他に、避難所開設、福祉避難スペース設置、屋外拡声器取扱い、備蓄品取扱い、災害図上、自衛隊被害状況偵察、土砂災害応急対策、土砂崩落救出、ドローン上空偵察等の各訓練もありました。



主会場全景（偵察ドローン撮影）



段ボールベッド設置



福祉避難スペース設置



備蓄品取扱い



土嚢作製



土砂崩落救出



閉校式

小田切地区立体地図模型 製作

サイズ600×600mm 尺度 1/10000

小田切地区立体地図模型ができました、平面地図では谷や沢など深さや距離感の見えにくい所が一目で判断できます。防災マップの土砂災害警戒区域・特別警戒区域と対比させ、急傾斜地区、危険区域の確認など今後の各区自主防災会の防災訓練等で活用していきます。



三輪地区地域間交流「野菜広場」

三輪ひまわり広場が10月15日に行われ、野菜広場でキャベツやリンゴを中心に販売しました。今年は野菜の種類が少なかった事もあり1時間ほどでほとんど売り切れました。



長沼水害復興支援プロジェクト 秋野菜贈呈

秋野菜の贈呈を11月10日長沼住自協で行いました。この日は白菜180個ほど贈呈し、ほかの野沢菜やおろし大根は長沼のみなさんが現地を訪れ自由に収穫してもらいました。



交流センター 新スポーツ大会

第1回 スマイルボーリング大会 10/8

小田切地区市民運動会に替わる新スポーツ大会として、「スマイルボーリング大会」が体育館で行われ、10区から10チーム約100名が参加しました。予選は3ブロックに分け、各ブロック1位の3チームが決勝に進み、優勝は千木公民館で2位上宮、3位国見でした。



小田切地区市民運動会 69年の歴史に幕

昭和24年に公民館創立に伴い始まった村民運動会は、29年長野市合併で第1回市民運動会となりました。途中、昭和38年から47年の10年間は、農村事情や生活環境の急変で中止したといわれる時期がありましたが、若人小田切の誕生を機に復活しました。近年はどこの区も高齢化と人口減で体力に見合った種目や編成が組めず、また新型コロナ下で中止が続く中、令和4年度をもって69年の歴史を閉じました。

平成30年の第40回大会が最後となり、優勝回数は深沢11回、中組10回、下山5回、国見4回でした。

桂ゴルフクラブ

桂ゴルフクラブは健康増進、親睦、楽しくプレーすることを目的に、平成14年に発足しました。昨年は3回の大会に延べ32



人が参加し、長野市地区対抗親睦ゴルフ大会では5年振りにベスト10入りしました。個々の練習やゴルフ大会開催により今年もベスト10入りを目指しています。

ゴルフ仲間募集中、ぜひ一緒にラウンドしませんか。

鉄道模型を楽しむりんごサークル

りんごサークルはNゲージ鉄道模型を楽しむ人たちの集まりで、10代から70代までの16人が活動し、長野市内はもちろん市外や県外からも参加しています。月に1度の例会では各自が持ち寄った鉄道模型車両を走らせたり情報交換など行っています。



一般公開イベントも開催していましたが、今のところ新型コロナの影響で再開困難となっています。

富士の塔 山頂整備 東屋、遊歩道の改修と眺望改善

市観光振興課は11月、富士の塔東屋の老朽化に伴い土台部の取替えやベンチ支柱の腐食部取替えなど改修。また念願の遊歩道階段は、崩落や土砂流出等で段差が傾き歩きにくかった所を改修しました。

山里整備隊は、一昨年に続く山頂周辺の眺望改善を11月15日に行い、今回は主に南面を中心に参加者13名で作業し、広範囲に善光寺平一帯の見通しが改善されました。



人権擁護委員 齊藤 敏 委員 (国見) 選任

人権擁護委員は小田切・第一・芋井の3地区から輪番で1名が選任されており、今期は小田切地区から国見の齊藤敏委員を推薦し法務大臣より委嘱されました。人権擁護委員は国民の基本的な人権を守り、人権の大切さを国民に知ってもらうための活動をする民間ボランティアです。任期は令和6年1月1日から8年12月31日の3年間。

「小田切地区人権を考える住民の集い」

人権教育促進協議会

交流センターで12月6日に開催し、講師は川中島町公民館館長で常泉寺の増田秀晃住職で、小田切中学校には初任地で3年間勤務されたとのこと。演題は「終末ケアや介護支援を通じた人権のあり方」で、介護支援や身のまわりの人権の大切さを改めて知ることができました。地区内の各団体役員など35名が参加しました。



小田切観光案内図更新 湯山



男の料理教室



翔和学園「一緒に楽しい秋の味覚祭り」



消防小田切分団小型ポンプ操法全国大会出場メモリアル 資料室



白バラ会研修



サロンサミット情報交換会



地域ネットワーク会議 地域包括支援センター安茂里



やまびこ

猛暑が10月末まで続きどうなることかと思っていたら、あっという間に11月中頃から冬の様相に、19日の初雪はいきなり15cmの積雪でびっくり。もみじがきれいに色づいたらすぐ枯れ始めた短い秋。野尻湖はこの夏上越地方への供給で水位が著しく低下、琵琶湖も京、大阪への供給でかなりの水位低下と聞く。西日本ではダム貯水率0%もあり水不足とともに今季の雪もまた気になるところ。